

日進笠寺山地区計画ガイド



日 進 市

日進笠寺山地区計画のあらまし

日進市折戸町笠寺山地区は市街化調整区域です。

市街化調整区域にも規制が設けられていますが、住宅地として周辺の街並みと調和した低層住宅の良好な住環境を形成し、維持・保全を図るため、以下のまちづくりのルールを設けます。

なお、それぞれのルールの詳しい内容は、次ページ以降を参考にして下さい。

建築物の敷地の最低限度

- ・建築物の敷地の最低規模を定めることにより、ゆとりのある住環境を創出します。

【A・B地区】

敷地の最低面積 180㎡

壁面の位置の制限

- ・建築物の壁面を境界から一定以上の間隔を空けて建築することによって、ゆとりある住環境を形成します。

【A・B地区】

隣地境界線及び道路境界線からの後退距離 1.0m以上

建築物の高さ制限

- ・建築物の最高高さを制限することによって、良好な住環境を形成します。

【A・B地区】

最高高さ 10m以下

建築物の用途の制限

- ・右ページのまちづくりの方針に基づいた建築物の用途の制限を行います。

* 制限内容の詳細については6ページをご覧ください。

まちづくりの方針

- ・土地利用方針をふまえて、A・Bの2地区に区分し、まちづくりの方針を定めます。

区 分	まちづくりの方針	面 積	建 蔽 率	容 積 率
A地区	戸建て住宅を中心とする閑静な低層住宅地区とする。	2. 1 h a	6 0 %	1 0 0 %
B地区	地域に必要な施設を設ける地区とする。	0. 0 4 h a	6 0 %	1 0 0 %

日進笠寺山地区 地区区分図



建築物の容積率の最高限度（対象地区：全ての地区）

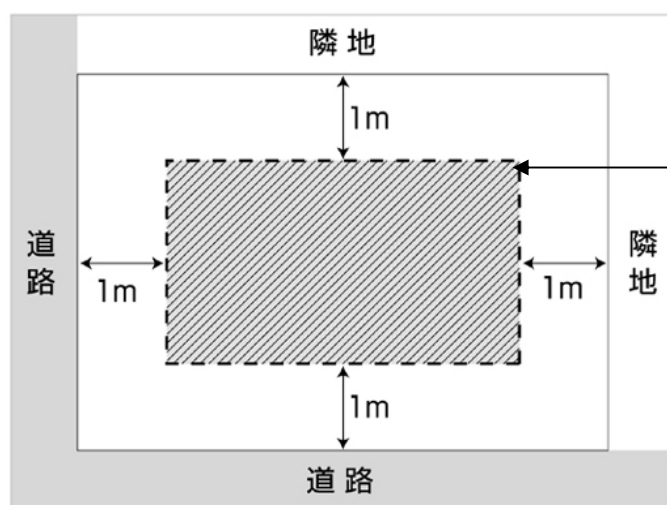
- ・ゆとりある街並みを創出するために、容積率の最高限度を1 0 0 %とします。

建築物の敷地の最低限度（対象地区：全ての地区）

- ・ ゆとりのある空間を創出するために敷地の最低面積は、180㎡とします。

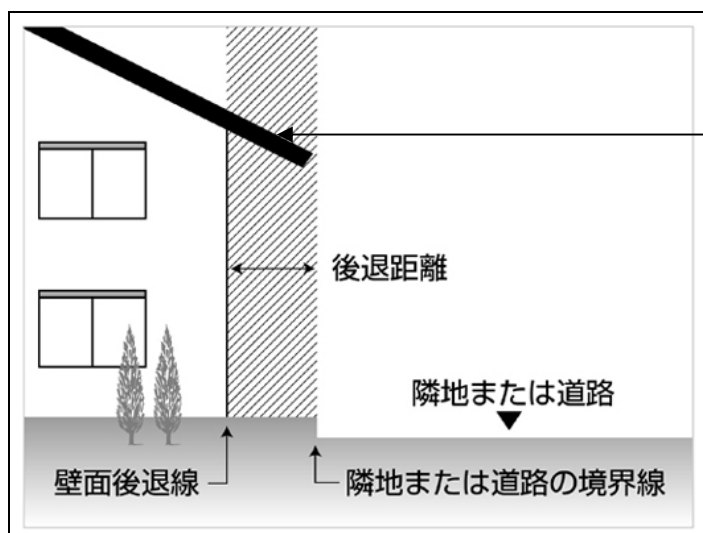
壁面の位置の制限（対象地区：全ての地区）

- ・ ゆとりある住環境をつくり出すために、建築物の壁面から道路境界線、隣地境界線までの距離は1m以上とします。（建築物の用途等により特例があります。）



建築物等は、この斜線内で敷地の建ぺい率に合うように建築できます。

●この規制に関する説明



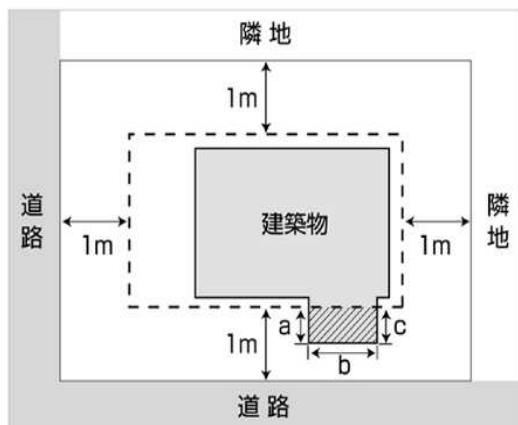
屋根底は壁面後退線を越えることができます。

境界線からの後退距離とは、建築物の壁面または、これに代わる柱の面までの距離であり、壁や柱の芯までの距離ではありません。

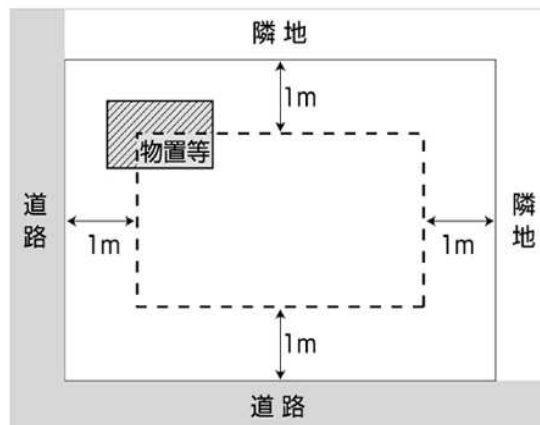
なお、建築物の附属部分で出窓（床面積に算入されるものを除く）、ベランダ、その他これらに類するものは、この規制から除きます。

《特例》

- ・ 斜線部の外壁の長さの合計が 3 m 以下の場合 ($a + b + c \leq 3 \text{ m}$)

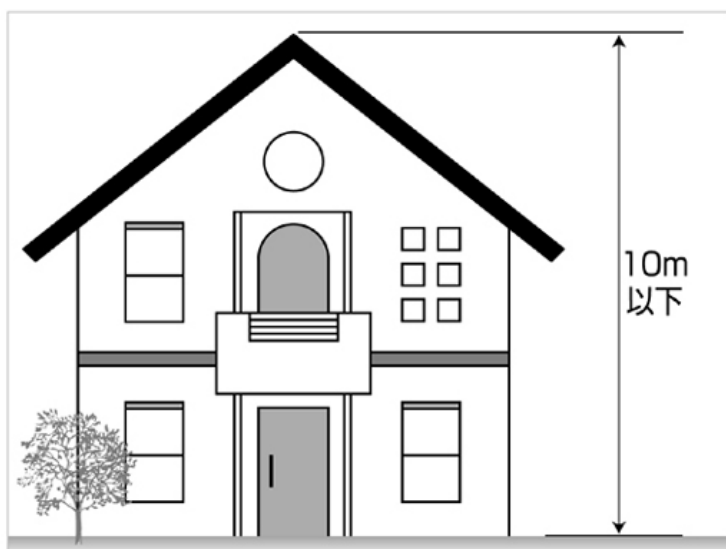


- ・ 物置、車庫等の建築物で、軒高が 2.5 m 以下で、かつ壁面後退線を超える部分の床面積 (斜線部) の合計が 10 m² 以下のもの



建築物の高さの制限（対象地区：全ての地区）

- ・ 良好な住環境を形成するために、建築物の高さの最高限度は 10 m 以下 とします。



建築物等の形態又は意匠の制限（対象地区：全ての地区）

- ・ 建築物の屋根及び外壁等は周辺の環境に調和して落ち着いた色調とします。

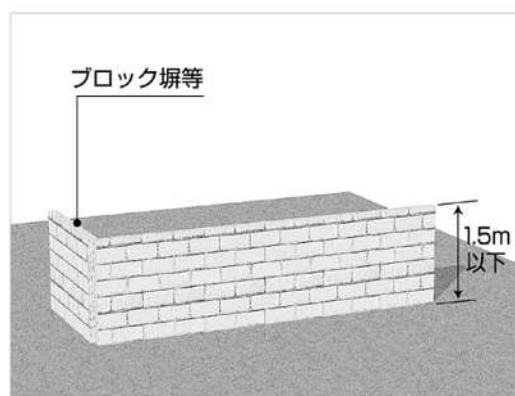
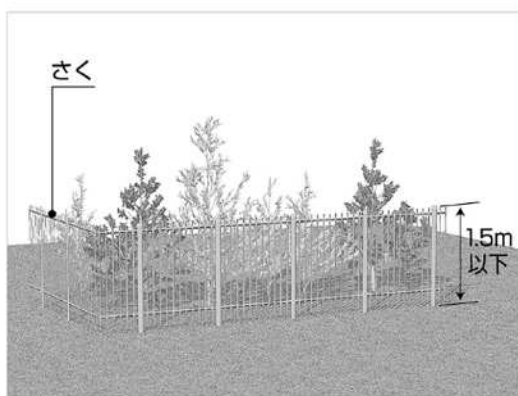
垣又はさくの構造の制限（対象地区：全ての地区）

- ・ 敷地内に垣又はさくを設置する場合は次のいずれかによることとします。

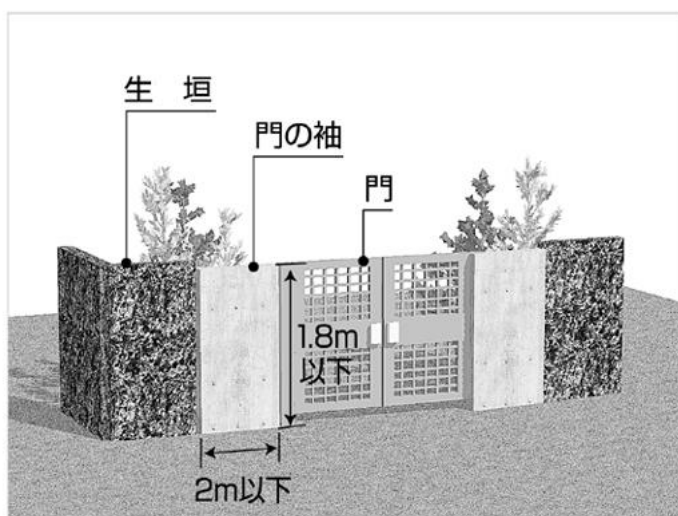
①生垣

②高さ（敷地地盤面からの高さをいう。）が1.5m以下

●以下のものは建築可能です。



- * ただし、袖の長さが左右それぞれ2メートルまでの門及び門に附属する塀にあっては1.8メートル以下とすることができます。



名古屋都市計画 日進笠寺山地区計画

建築物等の用途の制限	<p>次に掲げる建築物以外の建築物は、建築してはならない。</p> <p>【A地区】</p> <ol style="list-style-type: none"> 戸建専用住宅又は長屋住宅で戸数二戸以下のもの 巡査派出所、公衆電話所その他これらに類するもので建築基準法施行令(昭和25年政令第338号。以下「令」という。)第130条の4で定める公益上必要な建築物 前2号の建築物に附属するもの(令第130条の5で定めるものを除く。) <p>【B地区】</p> <ol style="list-style-type: none"> 集会所、管理組合事務所又は地域し尿処理施設 前号の建築物に附属するもの(令第130条の5で定めるものを除く。)
建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度	10分の10
建築物の敷地面積の最低限度	180㎡
壁面の位置の制限	<p>建築物の外壁又はこれに代わる柱の面(地階が設けられている部分の地階部分を除く。以下「外壁等」という。)から隣地境界線及び道路境界線までの距離(以下「後退距離」という。)は1メートル以上とする。</p> <p>ただし、次に掲げるものについては、この限りでない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 外壁又はこれに代わる柱の中心線の長さの合計が3メートル以下の建築物又は建築物の部分 物置、車庫その他これらに類する用途に供し、軒の高さの合計が2.5メートル以下で、かつ、後退距離の限度に満たない部分の床面積の合計が10平方メートル以内の建築物の部分 建築物の附属部分等で出窓(床面積に算入されるものを除く。)、ベランダその他これらに類するもの
建築物の高さの最高限度	10メートル
建築物等の形態又は意匠の制限	建築物の屋根及び外壁等は周辺の環境に調和して落ち着いた色調とする。
垣又はさくの構造の制限	<p>敷地内に垣又はさくを設置する場合は、次の各号のいずれかによるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 生垣 高さ(敷地地盤面からの高さをいう。)が1.5メートル以下のもの ただし、袖の長さが左右それぞれ2メートルまでの門及び門に附属する塀にあつては1.8メートル以下とすることができる。

注:この地区の建蔽率は60%です。

